

[優 秀 賞] ^{ししゅう}刺繍機によるフェザーテックス製法技術



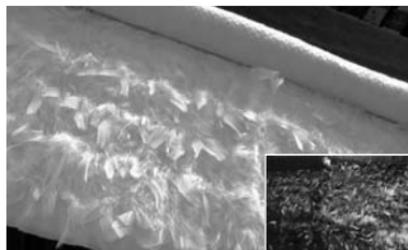
代表取締役
苗代 次郎 氏

株式会社 美希刺繍工芸

〒 720-1131 広島県福山市駅家町万能倉 373-40

TEL. 084 (976) 5919

<http://www.miki-emb.com/>



^{ししゅう}刺繍機を使い、フェザーテキスタイルを量産化する技術。羽根の芯を収納芯地の間にある綿の間に入れ固定し、段にして縫うことで美しいテキスタイルが出来上がる。

鶏の羽根はソフトで軽く、温かいが硬い芯がある。このため、これまでテキスタイルにはできなかった。これを芯の中心で縦に半割して芯をなくしてテキスタイル生地とし、さらにグランド生地と水溶性の不織布との間にこの羽根を挟み、刺繍機で縫製、後から不織布を洗い流し、ブラッシングすることで、縫った糸は羽根の中に入り、美しいフェザーテックスが出来上がる。

従来は羽根でモノを作るには手作り以外になかった。このため、割高にならざるを得ず、そのうえ、良品はできなかった。刺繍機で羽根全体をバイヤス縫いで繰り返し重ねながら自動で縫製することで、1反50～100mのフェザーテックスの原反が作製できる。出来上がった羽根の原反は羽根がちぎれても抜けることがなく、商品に合わせて染色もできる。製品としてはウエディングドレス、ジャケット、カバン、ブーツなどがある。